

(例1、2) 今回の資金使途

例 1

科目		万円
開発費用	A製品	
	B製品	
	知材・特許申請 その他事務費	
開発費用合計		
運転資金		
オフィス増設費	不動産 敷金等	
	事務系施設費用	通信・PC関係 備品等
		ITシステム費用 備品その他
	オフィス増設合計	
準備金		
合計		

例 2

科目			万円
店舗開発費	A店舗	不動産	
		内装費用	
		設備費用	
	B店舗	不動産	
		内装費用	
		設備費用	
	C店舗	不動産	
		内装費用	
		設備費用	
店舗開発費合計			
運転資金			
準備金			
合計			

資金使途の説明は出資者にとって、会社の事業・収益に関する説明に次いで重要。

ここでは大きな項目での数値しか出していないが、各科目でさらに詳細な見積もりの数字をいれるべき。

事業計画の正確さや現実性をアピールする上でも具体的な数値データもあった方がよい。